

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人海洋研究開発機構設備整備費補助		担当部局庁	研究開発局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度、25年度		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一			
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-7 海洋分野の研究開発の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人海洋研究開発機構法第17条		関係する計画、通知等	海洋基本計画(平成20年3月、平成25年4月 閣議決定)等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外と比べて遅れをとることなく世界の頭脳を獲得し、中核的な位置を占める拠点を維持するために、長期間使用し、老朽化が進行しているインフラの強化及び機能向上を行うとともに、研究機能の強化を図る。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	0			
		補正予算	0	0	4,427	0			
		繰越し等	0	0	△ 4,427	4,427			
		計	0	0	0	4,427			
	執行額		0	0	0				
執行率 (%)		100.00%	100.00%	100.00%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(独)海洋研究開発機構の事業を実施するうえで必要な設備を整備する			成果実績		—	—	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる設備を整備。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす
				達成度					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	設備の整備 実施件数			活動実績 (当初見込み)	件	—	—	0	() () ()
単位当たりコスト	—			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	海洋基本法において、国は海洋に関する施策を総合的に実施することとされており、海洋に関する科学的知見の充実についても、その目的のひとつとされている。本事業は海洋に関する基礎的な研究開発を進めるにあたって必要なものであり、広く国民のニーズがありかつ国が実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	平成24年度においては予算執行がなかった(平成25年度に繰越)が、予算執行にあたっては、契約の競争性、公平性、透明性の確保に十分留意し、新に必要なもののみ支出を行うこととする。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	平成24年度においては予算執行がなかったが、必要な設備の整備をより低コストで実施すべく努力する。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	契約にあたっては平成22年4月に策定した「随意契約等見直し計画」に基づき、より一層の契約の競争性、公平性、透明性の確保に留意し、真に必要な整備を行うこととする。					
	外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所期の目標を達成したことから、平成24年度をもって廃止することとしている。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
海洋基本計画 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/kihonkeikaku/080318kihonkeikaku.pdf						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
4,427百万円

独立行政法人海洋研究開発機構が行う
研究設備の整備に必要な経費

【補助金交付】

A.独立行政法人海洋研究開発機構
4,427百万円

独立行政法人海洋研究開発機構が業務を遂行するために必要な
設備の整備業務

【一般競争入札等】

民間企業等
4,427百万円

研究設備の製作・設備の納入等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 独立行政法人海洋研究開発機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備整備費	深部掘削孔内計測装置、大型二重収束セクタ-磁場質量分析計装置等の調達等	4,427			
計		4,427	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.独立行政法人海洋研究開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構が業務を遂行するために必要な設備の整備業務	4427	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					